

平成24年6月15日

時報サービス「117」の「うるう秒」調整の実施について

NTT東日本およびNTT西日本（以下、NTT東西）は、時報サービス「117」において平成24年7月1日（日）に「うるう秒」の調整を行います。

1. 概要

日本標準時の維持・通報を実施している独立行政法人 情報通信研究機構が、平成24年7月1日（日）に「うるう秒」の調整を行うことに伴い、NTT東西の時報サービス「117」においても「うるう秒」の調整を実施します。なお、昭和47年7月1日に第1回の「うるう秒」の調整を行い、今回で25回目の実施となります。（前回のうるう秒の調整は、平成21年1月1日に実施しました。）

2. 調整方法

NTT東西の時報サービス「117」は、独立行政法人 情報通信研究機構の調整方法と同様に、平成24年7月1日（日）の午前8時59分59秒と午前9時00分00秒の間に「8時59分60秒」を1秒挿入し、日本標準時刻に合うようにします。

但し、加入電話及びINSネット（電話サービス）から発信した場合と、ひかり電話（電話サービス）から発信した場合は、ガイダンスの聞こえ方が異なります。

※ ガイダンスの聞こえ方については別紙参照

（参考）時報サービス「117」について

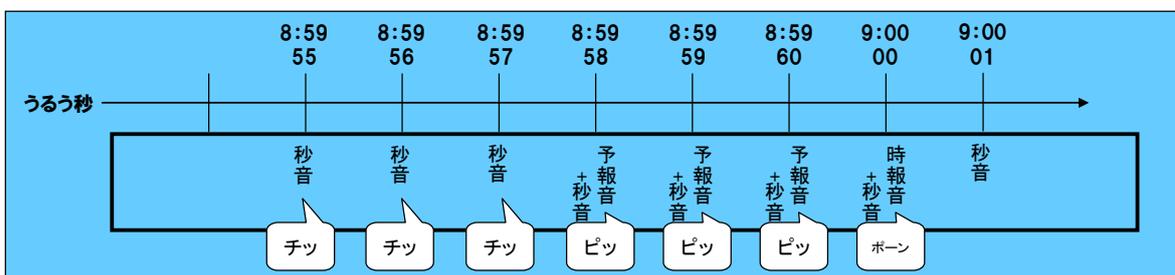
時報サービスは、昭和30年6月10日に「時の記念日」を期して、東京で試行サービスとしてスタートしました。当初は、地域により番号が異なっていましたが、昭和39年3月から「117」に全国统一し、正確な時刻を手軽にかつスピーディーに確認できるサービスとして長年親しまれ、多くのお客さまにご利用いただいております。

【別紙】

加入電話、INSネット（電話サービス）とひかり電話（電話サービス）のうるう秒における時報サービス「117」のガイダンスについて

・加入電話、INSネット（電話サービス）から発信した場合のガイダンス

午前9時00分00秒の3秒前から予報音を3回（58秒59秒60秒）鳴らし、時報音（ポーン音）を1回（00秒）鳴らします。



・ひかり電話（電話サービス）から発信した場合のガイダンス

午前9時00分00秒の4秒前から予報音を3回（57秒58秒59秒）鳴らし、時報音（ポーン音）を2回（60秒00秒）鳴らします。

